

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 2 年 4 月 23 日 (2020.4.23)

【公開番号】特開 2020-36701 (P2020-36701A)
 【公開日】令和 2 年 3 月 12 日 (2020.3.12)
 【年通号数】公開・登録公報 2020-010
 【出願番号】特願 2018-164492 (P2018-164492)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 3 3 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 2 月 6 日 (2020.2.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者にとって有利度が異なる複数の設定値のうちのいずれかの設定値に設定可能な遊技機であって、

遊技の進行に応じて演出態様が段階的に変化する所定表示を表示可能な所定表示手段と

、
 設定に関する示唆を行う複数種類の示唆演出のうちのいずれかの示唆演出を実行可能な示唆演出実行手段とを備え、

前記示唆演出実行手段は、所定表示の演出態様が特定段階まで変化したときに成立する第 1 条件と、該第 1 条件とは異なる第 2 条件とが成立したときに示唆演出を実行可能であり、

前記第 1 条件が成立しているときに、前記第 2 条件が成立していない場合に所定演出を実行可能である、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

(1) 上記目的を達成するため、本願発明に係る遊技機は、遊技者にとって有利度が異なる複数の設定値（例えば、設定値 1～6）のうちのいずれかの設定値に設定可能な遊技機であって、遊技の進行に応じて演出態様が段階的に変化する所定表示（例えば、事前演出におけるかき氷器やカップを含む演出表示）を表示可能な所定表示手段と、設定に関する示唆を行う複数種類の示唆演出（例えば、示唆演出 A～E）のうちのいずれかの示唆演出を実行可能な示唆演出実行手段（例えば、演出制御用 CPU 120 がステップ 066 I W S 117 を実行する部分）とを備え、示唆演出実行手段は、所定表示の演出態様が特定段階まで変化したときに成立する第 1 条件と、該第 1 条件とは異なる第 2 条件とが成立したときに示唆演出を実行可能であり（例えば、演出制御用 CPU 120 がステップ 066

I W S 1 1 1、0 6 6 I W S 1 1 2を実行する部分)、前記第 1 条件が成立しているときに、前記第 2 条件が成立していない場合に所定演出（例えば、演出制御用 C P U 1 2 0 がステップ 0 6 6 I W S 1 2 0 の処理による待機演出を実行する部分）を実行可能である、ことを特徴とする。

そのような構成によれば、複数の条件のいずれかが成立したときに示唆演出が実行されるため、示唆演出の実行に意外性が生じ、示唆演出の実行に関して興味を向上させることができる。